

課目名	関係法規・制度						
課目名(英)							
単位数	1	時間数	30時間	担当者	湊 啓史		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	行政書士歴10年(現職)		
対象学科・学年	美容科 1年						
授業概要	美容業界の関係法規・制度を理解し、過去問を中心とした学習を行い、国家試験合格を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					法制度の概要(社会生活における法の役割、法の形式等)を説明することができる。	
	○					衛生行政の概要を説明することができる。	
	○					美容師法並びに施行規則を説明することができる。	
	○					関連法規(運営・衛生)に関する法律を説明することができる。	
テキスト・教材 参考図書	関係法規・制度の教科書 過去問演習						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	法制度の概要 美容師法の概要説明			美容師法を予習しておくこと		
	2	衛生法規の概要 衛生行政の意義と歴史			教科書の該当範囲の予習と前回の復習		
	3	衛生行政の分類と生活衛生行政の内容 衛生行政を担う行政機関			教科書の該当範囲の予習と前回の復習		
	4	美容師法 目的と用語の定義			教科書の該当範囲の予習と前回の復習		
	5	美容師に関する規定 その1(養成施設、試験、免許と登録)			教科書の該当範囲の予習と前回の復習		
	6	美容師に関する規定 その2(義務)			教科書の該当範囲の予習と前回の復習		
	7	美容師に関する規定 その3(業務停止と免許取り消し)			教科書の該当範囲の予習と前回の復習		
	8	美容師に関する規定 その4(管理美容師の職務・資格)			教科書の該当範囲の予習と前回の復習		
	9	美容所に関する規定			教科書の該当範囲の予習と前回の復習		
	10	立入検査と環境衛生監視員 違反者等に対する行政処分			教科書の該当範囲の予習と前回の復習		
	11	美容師法の罰則			教科書の該当範囲の予習と前回の復習		
	12	関連法規 その1(美容業の運営に関連する法律)			教科書の該当範囲の予習と前回の復習		
	13	関連法規 その2(美容業の衛生と消費者保護に関連する法律)			教科書の該当範囲の予習と前回の復習		
	14	国家試験対策 過去問題を解く			過去問や重要ポイントを総復習		
15	国家試験対策 過去問題を解く			過去問や重要ポイントを総復習			
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する						
	(2)成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎					100%
履修上の注意	授業中の私語は大幅減点の対象とする。積極的に発言をした者は、加点を考慮する。						

課目名	文化論 I						
課目名(英)							
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	吉田 理恵子		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	美容文化論教員資格所得後文化論の授業を行う		
対象学科・学年	美容科1年						
授業概要	国家試験に対する知識を深めるとともに、西洋ファッショ文化史を学ぶ。人の歴史の最古から、美容がかかわってきたことを学ぶことは、今を知るためにとても重要である。歴史の中で創り上げられてきた「美しさ」があり、現代のもの融合することで新しいスタイルを生み出すことが出来る。文化論の中にはデザイン発想する為のヒントや、創造の幅を広げるエッセンスが多く存在する。文化を知り学び、知識を得ることにより、お客様が求める美しさを的確に理解し、幅広いスタイル提供ができ、即戦力に繋が社会人に目指す。						
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		
					実技:		
					※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	目標		
	○				西洋ファッショ文化史における文化の流れを説明できる。		
	○				西洋ファッショ文化史における、それぞれの時代の髪型・メイクを説明できる。		
	○				理美容業界の歴史について説明できる。		
テキスト・教材 参考図書	日本理美容教育センター 文化論教科書						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第1章 総論			教科書を使い、予習復習を行う。		
	2	第4章 ファッショ文化史(西洋編)・・・古代エジプト			教科書を使い、予習復習を行う。		
	3	第4章 ファッショ文化史(西洋編)・・・古代ギリシャ・ローマ			教科書を使い、予習復習を行う。		
	4	第4章 ファッショ文化史(西洋編)・・・古代ゲルマン			教科書を使い、予習復習を行う。		
	5	第4章 ファッショ文化史(西洋編)・・・中世ヨーロッパ			教科書を使い、予習復習を行う。		
	6	第4章 ファッショ文化史(西洋編)・・・近世Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ			教科書を使い、予習復習を行う。		
	7	第4章 ファッショ文化史(西洋編)・・・近代Ⅰ・Ⅱ・現代Ⅰ～Ⅶ			教科書を使い、予習復習を行う。		
	8	まとめ①(第4章 復習テスト①)			教科書、小テストを使い復習する事。		
	9	第5章 礼装の種類・・・和装の礼装			教科書を使い、予習復習を行う。		
	10	第5章 礼装の種類・・・洋装の礼装			教科書を使い、予習復習を行う。		
	11	まとめ②(第5章 復習テスト②)			教科書、小テストを使い復習する事。		
	12	まとめ③(第1章 総論)			まとめプリントを使い、予習・復習を行う		
	13	まとめ④(第4章。第5章 ファッショ文化史)			まとめプリントを使い、予習・復習を行う		
	14	まとめ⑤(前期末試験対策)			対策プリントを使い、予習・復習を行う。		
15	前期末試験、解答、解説			教科書を使い、予習復習を行う。			
評価方法	(1)授業の中で小テストを4回実施する。(2)宿題、レポートを数回実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。宿題・レポートは提出期日の状況で判断する。以上を下記の観点。割合で評価する。成績基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上9・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○					70%
	小テスト	○					10%
	宿題・レポート	○					10%
発表・作品					○	10%	
履修上の注意							